

2017秋冬新作発表

アルティザン・アンド・アーティスト

アルティザン・アンド・アーティストは5月18、19日の両日、2017秋冬新商品展示会を開催した。今秋冬のテーマを「Magical Night」とし、夜遊びメーク、パーティ、デート、きらきら、ちよっぴりセクシーをキーワードにしたコレクションを揃えた。

「スーパーカボリック」を使い、インナーもシルバリーにして大人っぽい世界を表現した。「外見は辛口だが中に綿を入れたふわふわした仕上がりとし、クッション性を高めた」(山本絢子商品開発/生産部デザイナー)という。7月上旬発売。「モナムールバニー」は、華やかなシーズンにふさわしい手書きのパンターガールをインクジェットプリントで加工した生地を使っている。8月中旬発売。



「ジュエル」は、シャパンの泡のようなキラキラ感を訴求した華やかなコレクション。表面をポリウレタンでコーティングして汚れや水に強くし、柔らかな質感も出した。ガラス製ビジュアークをアクセントを添える。9月中旬発売。



あり、旅行やスパに便利だ。12月中旬発売。

「マイクロバッグ」シリーズは、コスメポーチのノウハウを活かして開発したもの。機能、品質、豊かなバリエーションをコンセプトに、コンパクトサイズのバッグに最低限のコスメを直接収納できるようにした。

「秋冬を目途にプロフエッショナルラインをリニューアルする。コチを熱いま入れられるケースやボックスディッシュを入れるられるタイプなどの多機能派が揃うので、多くのメークアップアーティストが愛用している。熊野の職人が作ったプロ用のメークブラシも7月にリニューアル発売する予定だ」(山本氏)

東装協

東京都装粧品協同組合は5月25日、都内で第77回通常総会を開催した。



早川理事長

第77回通常総会を開催

総会では、平成28年度事業・決算報告から平成29年度の事業計画・収支予算案まで、議案は4号まで

辛さを経験したからだ。何故、象に乗って食あたりになるのか全く理解されない状況だと思ふので先に説明しておくと、タイで象に乗った時は現地の象使いと筆者の2人だけで、

象は記憶に残る

先月、家族で「市原ぞうの国」に行った。4歳の長男と2歳の次男は生まれて初めて象に乗り、筆者も高校3年生の時にタイで現地の象に乗って以来、2度目の体験となった。

私のH & B日記

最大の見所は、何と書いても「ぞうさん」で、象たちが繰り広げる迫力あるサーカス、さらには人間顔負けのお絵描きなどは親子ともに楽しめ、象の賢さには本

タイ語を全く知らなくても「チップ」を要求されていることは理解できた。

苦い思い出がある。象に乗ったのはこの時以来だが、今回親子で楽しい思い出ができたので、今後は子どもからタイの最高額紙幣「1000バーツ札」(日本円で約3000

「女心」攻略データベース

第80回 自然回帰に向かう女性たち

●執筆者プロフィール●
中村浩子
株式会社ヴィナスプロジェクト代表取締役社長
聖心女子大学在学中より、光文社「J」にてファッション・ライフスタイルを担当。その後「VERY」「STORY」の編集、企画を経て独立。株式会社セブン&アイ出版スーパーバイザーを経て、現在は一万人の読者モデル発掘の経験と女性消費者を取材し続けるから、ファッション、ビューティに関するブランドプロデュース、コンサルティングなどを行う。



●解説者プロフィール●
中野靖識
株式会社ヴィナスプロジェクト 小林
TEL 03-3408-7765
Mail venus-project@fine.ocn.ne.jp

とは違う、ハッと目を引く美しさ、内面に効く自然作用について、あらためて考えさせられる瞬間でした。

今、私たちは、人工的なもの、デジタルに囲まれているからこそ、自然回帰を求める気持ちが強くなっています。大企業の協賛がついた凝った最新イベントでなく、身近な手作り感のある「あじさいまつり」が心地いいと感じられる人が増えているのも、その現れだと思えます。

【モノから「トロヘ」】

戦後の「何も無い状態」から日本の成長を牽引してきた団塊の世代の方々は、「努力をして何らかの物質的価値を得る」という高度経済成長時代を牽引してきました。現在では普通に所有しているテレビ、エアコンなどは、裕福な家庭でなければ手に入らなかったものですし、自動車に至ってはいつかはクルマというCMが流れていたように、サラリーマンの努力の結果としての「所有」が高度経済成長を支える価値観の一つでもありました。

執筆者・中野靖識